
異世界先生：異世界からの先生 プレゼンス

暁～小説投稿サイト～ By 肥前のポチ

<http://www.akatsuki-novels.com/>

注意事項

このPDFファイルは「暁く小説投稿サイトく」で掲載中の小説を「暁く小説投稿サイトく」のシステムが自動的にPDF化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「暁く小説投稿サイトく」を運営する肥前のポチに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界先生：異世界からの先生

【作者名】

プレゼンス

【あらすじ】

北海道（と彼女の家）の女性英語教師が偶然に別の世界に姿を消し、魔法少女（そして公爵夫人）になります。

異世界 ○

私は誰もが典型的な異世界の物語を読んだことを知っています、誰かが異なる事実、死と生まれ変わり、召喚、ポータル、制御不能な乗り物、武器を持ったランダムな人、事故のために彼らとは異なる世界で終わります 図書館、ショック・・・あなたはドリルを知っています。

生徒たちは彼らのような物語を読むのが好きなので、ライトノベルやマンガを学校に持ち込み、英語である限りそれを許可しました。

また、私はこのジャンルのファンであり、百合もあります。

私が気づかなかったのは、私自身が異世界に運ばれることを経験するだろうということです。

ある日、学校の厨房から先生の部屋に戻ってきたクラブ活動の後、料理部の顧問をしていたので、空に何か変なものが見えたのですが、気にならなかったのですよならを言って帰宅しました。 私は物を置いて、隣の家で両親と一緒に住んでいた妻を訪ね、彼女と一緒に作り、家に帰り、夕食を作り、字幕なしのアニメを見ました（悲しいことに日本には字幕がありません）、ブラシをかけました 私の歯、そして眠りについた。

翌朝、準備をして、朝食を作って、荷物をまとめて、いつものように家を出て、働いている学校に向かいましたが、その日は違って、どういうわけか、家と私は未知の場所にいました！

最初は慌てていましたが、生徒の本の話をいくつか覚えていたので落ち着きましたが、英語の先生の仕事をしていて、自衛隊の予備役で妻がいたことを覚えていたので、再びパニックになりました。

私は落ち着くことができ、中に入って次に何をするかを計画することになりました。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
http://www.akatsuki-novels.com/stories/index/novel_id~28266

異世界先生：異世界からの先生

2023年03月12日 04時15分発行